



# あすなろだより

2008年6月10日

発行 三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当  
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL. 059-234-8700 FAX. 059-234-9361  
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/

## 講演会・シンポジウムのご案内

あすなろ学園長 西田 寿美

今年もあすなろ学園と自閉症発達障害支援センター合同の講演会・シンポジウムの時期が近づいてまいりました。



今回は、「これからの地域子育て支援を考える～切れやすい子どもの理解と対応～」と題して、平成20年7月31日に開催することになりました。

西田  
司会

最近、外来を訪れる子どもたち、特に小学校低学年の子どもたちに、いわゆる「切れる子どもたち」が増加しています。保育園や幼稚園では、大きな問題とはならなかったのに、小学校入学後、授業中の立ち歩き、先生の指示が聞けず、休み時間友達とトラブルが増えています。注意されると暴言を吐き、しかられると物に当たり、友達に暴力を振るいます。親も注意しますが同じことを繰り返し、除々に些細なことで切れる子どもとなり、学校から専門機関への相談を勧められることとなります。切れる当人は「いやなことを言われたから。自分だけがしかられる。」と言い訳します。強くしかっても同じことで、かえってひどくなり、周囲の大人は戸惑うばかりです。

そういう子どもたちが、治療の中でご褒美のシール評価を楽しみに頑張るようになり、集団遊びに入れてほしくて暴言や暴力を我慢するようになります。本当は切れたくないのに、なぜ切れることでしか自己表現できないのか。切れやすい子どもにしないためには、大人はどう子どもと付き合えばよいのか。切れやすい子どもの心と行動を、シンポジウムで解きほぐしたいと考えております。

多数のご参加をお待ちしております。

## 全国児童青年精神科医療施設協議会 第38回研修会の報告

協議会事務局長 あすなろ学園 診療科医長 中島 弘道

平成20年2月14日～16日の期間、三重県津市において「入院治療と地域連携」をテーマに研修会を開催しました。全国各地の児童青年の精神科医療施設（平成20年現在 会員施設20箇所、オブザーバー施設7箇所）が研究を重ね、上記テーマについてその成果を発表しました。

～発表の一例～

### 「入院治療における地域連携についての検討」

#### 背景

入院治療により症状の改善が認められても、家庭及び地域の受け入れに問題があるため、症状の軽快から退院までに時間がかかり、退院後もすぐに症状の悪化が見られるケースが少なくない。

#### 方法

入院初期より学校・児童相談所及び市障害福祉担当等と連携を行い、環境調整や情報交換を行う事で家庭復帰を可能とし、より効果的な地域連携のあり方について検討した。

#### まとめ

1. 地域連携を行うに当たっては、医療機関を中心とした、学校や児童相談所などの必要な支援を提供する関係機関が、目的や情報などの共有化を行い、同じ認識を持って協働していくことが重要である。
2. 家族統合に向けた支援を行うには、児の治療と同時に、家族に対しても早期からの介入が必要である。また、家族に対しては、それぞれの関係機関が退院後を視野に入れたアプローチを行い、家族との関係性を構築した上で、支援が行われる事が望ましい。
3. 児の成長や人事異動等で担当者が変わっても、情報を効果的に伝達し、継続的に関係機関が連携してサポートしていけることが重要である。

～研修会を終えて～

連携する機関同志が日頃から良好な関係にあること、地域ネットワークが必要な援助を作り出せること、長期的なフォロー体制があることが、退院後の子どもの育ちを保障するという点を改めて感じました。

子どもが社会的に自立するまでには、長い時間とたくさんの大人の助けが必要です。親から離れて入院するという、子どもたちにとって当初は大きなストレスになる体験を、成長の土台作りとなる体験に変えることが、子ども臨床の課題です。

次回39回研修会は、平成21年2月5日～7日 「摂食障害と入院治療」をテーマに神奈川県にて行う予定です。今後も子ども臨床の各テーマについて研鑽を続けていきます。

## 知ってもらおうとたすかるよ ぼくをよろしくねメモ No.2

～康ちゃんのお母さんメモ～

あすなる学園 園長 西田 寿美

### 康ちゃんの紹介

〔乳児期〕

人見知りがあったが、抱いたりベビーカーに乗せても何かクターとしていた赤ちゃんだった。玩具ではなく石ころや鉄板に興味を示し、他の子どもを避け、指差しせず、視線も合いにくく、お母さんは1歳半健診のとき「自閉症ではないだろうか」と保健師に聞いたが、「表情もあるし心配ない」と言われた。運動は苦手で、転んでも手をつかずよく顔面を怪我し、コーナーで曲がる時も頭をぶつけることが多かった。

〔幼児期〕

2歳 単語が増える。

3歳 健診でも何も指摘されなかったが、顔を斜めに傾けて見ることが気になり相談すると、眼科をすすめられたが、検査は異常なし。

幼稚園に入園し、他児から「あっちいけ」と突き飛ばされたことが強い被害体験となり、子どもと会うことを恐れて外に出られなくなる。ことばにこだわり「なんで」を連発し、わからないとパニックになり、一日中泣き叫ぶようになる。

4歳 心配した両親は発達相談を受け、そこで高機能自閉症と診断され、将来はアスペルガー症候群の可能性があるといわれた。康ちゃんのパニックはひどくなるばかりであった。

5歳 紹介されてあすなるに初診となり、薬物療法を行い過敏性が改善し、パニックは減ったが子ども集団には入りにくかった。

以来現在までお付き合いが続いている。

### 「怒っている、泣いている、そうゆうシーンは、とても苦手だよ」

作り話だって分かっているけど、そんなシーンに会うと心がワサワサする。

とても落ち着いてなんかいられない気分になるんだ。

みんなは、どうして平気でいられるのかな？

ボクには分からない。対処法を教えてくださいよ。

今のところ、ボクのやり方はこうなんだ。

例えば、きかんしゃトーマスで、トップハムレット卿がパーシーを怒っているとするだろ？

そうゆうときは、わざと自分の声をかぶせて、そのシーンを聞こえないようにするんだ。

この方法を使えば、その場所を離れてもすむし、心がワサワサしないで済むからね。今の

ボクにとっちゃこれが最善の方法なんだ。

「状況をよむのはむずかしいよ」

さっきの話の続きにもなるけど、現実の世界でそういうシーンに出会うと、どうなるかっていうとね・・・、とりあえず笑うようにしている。

何とか穏便に終わらせたいと思ってね。

けど、この方法は、どうやら間違っているらしいということに気が付いたよ。

この間、(春休み) スイミングスクールで仲良くなったトシくんが遊びに来てくれたんだ。

ボクは、そのトシくんがつくった積木の道路の一部に腰を下ろしてしまっていたみたい。

途中、何度も注意をされていたらしいけど気が付かなくてね。

それでトシくんが怒っちゃった。ボクは理由が分からなくて、やっぱり笑ってみたよ。

そうしたらトシくん、ますます怒っちゃった。大暴れになっちゃったんだ。

ボクは、怖くてますます笑ったよ。あとで、おかあさんが教えてくれたよ。

「相手が怒っている時、笑っちゃだめだ」って！

「そんなことすると相手は、ますます怒っちゃう」って。

ハア～～～!!! これはボクのため息・・・。こうゆうボクって、けっこう大変でしょ？

## ～お知らせ～

平成20年度 講演会・シンポジウムを開催します

テーマ：「これからの地域子育て支援を考える ～切れやすい子への理解と対応」

日 時：平成20年7月31日(木) 開場 9:30 開演 10:00

場 所：三重県総合文化センター 文化会館 中ホール

主 催：三重県立小児心療センターあすなる学園(共催 三重県自閉症・発達障害支援センター)

プログラム：第一部 講演会(10:00～11:30) 講師 山登敬之(東京えびすさまクリニック院長)

第二部 シンポジウム(13:00～16:30)

定 員：900名 参加費：無料

問い合わせ先：〒514-0818 津市城山1丁目12番3号

三重県立小児心療センター あすなる学園 医療連携室

電話：059-234-8700(内線332) FAX：059-234-9361(FAX専用)

申込要領：あすなる学園HPよりシンポジウムお知らせをご覧ください。

URL：<http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/>

## 外来診療のご案内

\*診察は完全予約制です。

\*初めての方の診察は午前のみで、予約制です。

●予約電話番号

**059-234-9700**

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	大槻	河野	西田
2 診	吉岡	中西	石田	中西	大槻
3 診	河野	中島	中野	吉岡	中野